ＳＳＨ ＩＳＴ道内研修

ＳＳＨインターステラテクノロジズ道内研修が11月13日・14日に行われ、三～五年生が参加した。本研修では、大樹町にあるインターステラテクノロジズ（以下ＩＳＴ）の工場・射場や大樹町航空宇宙実験場の見学、大樹町・ＩＳＴで行っている航空宇宙産業などについての講義を受けた。

大樹町では約35年ほど前から航空宇宙産業に力を入れており、その中でもＩＳＴはロケットの製作から打ち上げまでを行っている。最近話題になったことは、今年7月31日に堀江貴文氏が出資し、ＩＳＴと共に観測ロケット「ＭＯＭＯ」の打ち上げを成功させたことだ。

またＩＳＴは、ロケットに乗せて飛ばす物の実験として、バラを乗せたり、日本酒を燃料の一部として使うことが出来るのかを実験したりしている。

10月25日、11月の本研修に向けての事前研修が本校で行われ、本研修で発射させるミニロケットを作成した。この日は大樹町からリモートで安保さんが参加して下さり、ロケットの作り方を教えていただいた。参加者の多くは慣れない作業に苦戦しながらも、グループで協力し合い、ロケットを作成することができた。それぞれのグループが自分たちのロケットに名前を付け、本研修への期待を抱いた。

11月の本研修の日、参加者は朝早くから学校に集まり、三時間半バスに揺られ、大樹町へと向かった。

講義の中で、航空宇宙産業を行っていく上で、多くのことに細心の注意を払っていることを知った。発射場には、ロケットを作成する工場やエンジンテストが行われる実験場があり、実際にエンジンテストが行われると騒音が発生する。安全のために射場から半径約1.5km以内には人が住んでおらず、南と東には海が広がる場所に射場がある。しかし、射場施設のまわりには牧場が多くあり、音によって動物がショックを受けてしまわないように防音壁を設置している。動物への配慮も実感することができた。

そして、1kmにも及ぶ滑走路で、事前に作成したロケットに燃料を入れて打ち上げた。無事に全グループ、打ち上げることができ、参加者からは歓声が上がった。落下時にはパラシュートが開いた班もあれば、開ききらずに落下した班もあり、参加者はロケットを作成して発射を成功させる難しさや成功したときの感動を知った。筆者も本研修に参加したが、宇宙を身近に感じることが出来、参加して良かったと心から思える研修内容ばかりだと感じた。

本校には本研修以外にもプレ先端科学特論やＳＳＨ研修などが沢山あるため、気に入ったものや興味のあるものに参加してみてはいかがだろうか。

1/365コマ

朝8時頃に校舎から「天使の梯子」と呼ばれる薄明光線が見られました。天使の梯子は幸せを呼ぶと言います。曇天でも小さな幸せが訪れるかもしれません。

アンテナ

今年は11月19日に札幌で平年より２週間遅い初雪宣言が発表された。さて、雪が降る前によく雪虫が現れるだろう。雪虫には可愛そうな一面を持っていることをご存知だろうか。雪虫は、トドマツの木からヤチダモの木に飛行移動する時のみに現れる虫で、雪が降っているような姿で移動する。しかし、移動中にどこか別の場所に付着してしまい、白いふわふわが他の場所に付着付してしまうと雪虫の生涯が終わってしまうのだ。私たちにとって、雪が降る時期を知らせてくれる雪虫の生涯を知ると、寒い冬も頑張って越冬しようと思えるのではないだろうか。

発　行
開成中等新聞局
＊　＊　＊
東区北22条東21丁目
TEL　788-6987

新聞局局員募集中！！

火曜日、木曜日、金曜日の放課後に活動しています。

１年生・２年生のまだ局活動に参加できない学年の皆さんを含め、新聞局に興味を持っている方の見学をお待ちしています！

また、新聞局室前で「生徒のひとりごと」や、広告・写真撮影などの依頼を随時募集しています。

気軽に書いてみて下さい！

生徒のひとりごと

５年４組　卵：うどんが美味しい季節です

３年１組　大友亀太郎：たまご　たべた　うまうま

４年？組　ひふみん：授業時間が長い。Ｉｐａｄの使い勝手が悪い

２年４組　ららららん：課題とかもうムリ

５年４組　ミジュマル：雪が降ってきてそろそろダウンかな・・

ｎ年ｍ組担任　Carp：新聞局が心地良いので、最近ずっと遊びに行ってます。皆さんも覗きに行きましょう！

発行責任者　寺島

▲新聞局から▲期限過ぎ　気づいたときには　もう遅い